

【平成 30 年度重要課題】

- I. 2019 年特別展を中心とした国内・外における展覧会開催のための調査・研究
- II. 設立 40 周年を記念した関連事業の企画・遂行
- III. KCI 中長期事業計画立案のための調査・研究

事業計画

1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開
(デジタル・データを含む)

(1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集
- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

(2) 保存・修復

- 1) 収蔵庫内環境の安定的維持
- 2) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策
- 3) 収蔵品の補修

(3) 公 開

- 1) 「Kimono Refashioned」米国巡回展の開催

[ニューアーク会場]

会場：ニューアーク美術館 (Newark Museum)

会期：2018 年 10 月 12 日 (金) ～2019 年 1 月 6 日 (日)

主催：サンフランシスコ・アジア美術館、ニューアーク美術館、公益財団
法人京都服飾文化研究財団

[サンフランシスコ会場]

会場：サンフランシスコ・アジア美術館 (Asian Art Museum, San Francisco)

会期：2019 年 2 月 8 日 (金) ～5 月 5 日 (日)

主催：サンフランシスコ・アジア美術館、公益財団法人京都服飾文化研究
財団

[シンシナティ会場]

会場：シンシナティ美術館（Cincinnati Art Museum）

会期：2019年6月28日（金）～9月15日（日）

主催：サンフランシスコ・アジア美術館、シンシナティ美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団

展示：衣装（着物含む） 60～70点（うちKCI所蔵 約55点）
絵画、工芸品等 約10点

【企画概要】

「きもの」を作ってきた日本の染織技術や、きもの独特の着こなし方は、19世紀後期から現代にいたるまでファッションを刺激してきました。本展は、KCI コレクションを中心に、米国の美術館が所蔵するきものを描いた19世紀後期の西洋絵画、あるいはきものを組み込みながら、ファッションにおけるきもの影響を考察します。きものや日本文化への新たな関心と呼ぶと同時に、現代ファッションの方向性を見定める内容を目指します。

2) メトロポリタン美術館「Versailles」展への出展協力

会場：メトロポリタン美術館

会期：2018年4月7日（土）～7月29日（日）

主催：メトロポリタン美術館

貸出：18世紀のローブ・ア・ラ・フランセーズ 1点

3) メトロポリタン美術館「Heavenly Bodies」展への出展協力

会場：メトロポリタン美術館

会期：2018年5月10日（木）～9月3日（月）

主催：メトロポリタン美術館

貸出：バレンシアガ、コム デ ギャルソンのドレス、他 計10点

4) KCI ギャラリーにおける収蔵品展示

設立40周年に合わせ、KCIの活動やコレクションを紹介する展示等を企画

① 期間：2018年1月29日（月）～4月27日（金）

展示：「プレタポルテの幕開け—久田尚子氏のワードローブを中心に」

② 期間：2018年5月28日（月）～8月17日（金）

展示：未定

③ 期間：2018年9月～12月

展示：未定

④ 期間：2019年1月～4月

展示：未定

- 5) デジタル・アーカイブスの整備と公開
 - ① KCI ホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補
 - ② KCI スタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開
 - ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」（スパイラルにて設置）の公開および収録作品の増補
 - ④ Google Arts & Culture への収蔵品情報提供及び WEB 上で公開
2. 収藏品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究
 - (1) KCI 収蔵品及び現代ファッションの調査・研究
 - 1) 次期特別展に関する調査
2019 年に京都開催を予定している特別企画展の出展品等の調査
 - 2) ファッションにおける日本の影響に関する調査
2018 年開催の米国巡回展「Kimono Refashioned」出展品調査とその発展的研究
 - (2) KCI 収蔵品のパターンの研究・作成、レプリカの作成
3. 収藏品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理
 - (1) 収藏品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進
 - (2) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理
 - (3) 収藏品の予防的保存対策の整備及びその調査・研究の推進
 - (4) KCI ギャラリーの設備・展示什器の整備
 - (5) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究
範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査
4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布
 - (1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影
 - (2) 学術研究誌への研究論考投稿。専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿
 - (3) 財団研究誌『Fashion Talks...』の発行、及び『Dresstudy』過去論考の KCI ホームページ上での公開

- (4) 財団広報誌『服をめぐる』の発行、及びバックナンバーの KCI ホームページ上での公開
- 5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成
 - (1) 大学等における服飾史等の講義
 - 1) 京都精華大学 講義「ファッション史」(前期)
 - 2) 京都女子大学 講義「ファッション文化」(前期)
 - 3) 神戸学院大学 講義「ファッション社会学」(後期)
 - (2) シンポジウム・講演・研究会等への参加
 - 1) ICOM コスチューム委員会オランダ大会への参加
 - (3) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施
 - (4) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講
会期：2018年8月20日(月)～8月24日(金)
受講者：公募審査による約15名
 - (5) キュレーター及びレストアラー(修復技術者)の育成
 - 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
 - 2) 収蔵品、新収集品の調査・研究
 - 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
 - 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
 - 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修
 - 6) インターンの受入れ

6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施。
これに基づく国際文化交流。
 - (1) 展覧会の企画・出展協力
 - 1) 米国巡回展「Kimono Refashioned」の開催
 - 2) 次期特別展の企画
 - 3) メトロポリタン美術館「Versailles」展への出展協力
 - 4) メトロポリタン美術館「Heavenly Bodies」展への出展協力
 - (2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換
 - (3) 時代マネキンの紹介
平成22年度に監修・開発した18世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以 上